

R/C WORLD

No.208
2013 April
680yen

4

[特集]

管理しやすいパワーソースに
充実のシャシーライオンナップ
始めるのなら環境が
整った今がチャンス!

今こそ 電動ツリー ング

ハイエンド 難しい……という
これまでの考え方はコレで変わります

ラジドリシーンの
最新トピックスは
ここを見ればわかる!

ドリフト魂 リターンズ

HPI USAにのりこんで
その全容を徹底取材

サベージXLオクタンの
ガソリンエンジンは
ここがスゴイ!



注目のイベントでユーザー大量捕獲
人が使っているモノってやっぱり気になりますよね?

タミヤ・ウインターゲームス&
京商・ミニッツカップファイナル
ユーザーズナップ

フォワードキャビンタイプの専用ボディが付属。マシン前方からの気流を効率よくリアウイングに導くためのルーフ形状が特徴的だ。



New Model 02

スロバキアの巨星が送り出す 渾身の1/10EPオフローダー

XRAY
XB4

価格4万8300円

問い合わせ/セントラルールシー phone 072-239-6565
text/A.Hasegawa 長谷川 敦 photo/N.Suzuki 鈴木信行

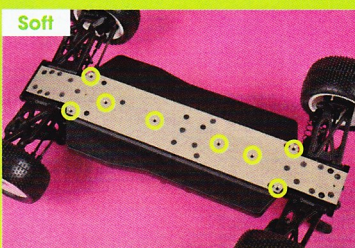
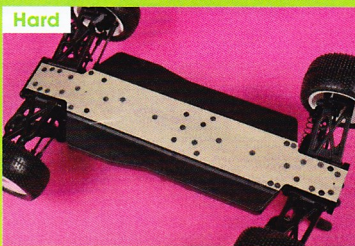
アルミ+樹脂の
ハイブリッドシャシーを採用



アルミ製プレートと樹脂製バスタブを組み合わせたメインシャシーを採用。7075-T6アルミ製シャシーの先端にはスキッド角も設けられる。

ビスの本数でシャシーのしなりが調整可能!

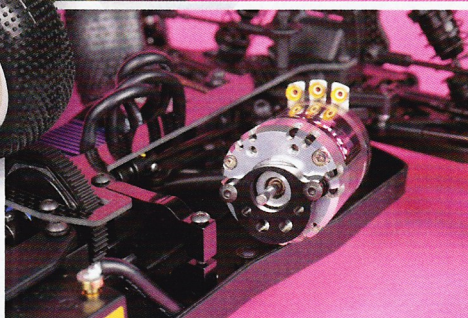
アルミ製シャシーと樹脂バスタブを固定するビスの本数によってシャシー（フレーム）のしなり剛性を調整することができる。すべてのビスを締め込んだハード（上）と、丸印の8本のビスを取り外したソフトの他に、センターライン上のビスを残した中間的な硬さに仕上げることも可能だ。路面コンディションやドライバーの好みに応じて調整する。



モーター搭載位置や振り分け式バッテリーの採用などは4WD方式のEPバギーとしてはオーソドックスなスタイル。駆動方式にはシャフトドライブを採用。



ステアリングはダブルワイパー式。右側ワイパーの下部にはコイルスプリングによるサーボセイバー機構も設けられている。



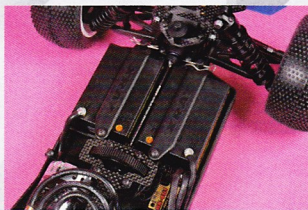
確実なホルドを実現したモーターマウント

モーターはクランプタイプのモーターマウントに固定する(上)。偏心式のカムをモーターに装着し、このカムを回転させることによってピニオン&スパーギヤのバックラッシュ調整を行う。

カーボンプレート製のアップパーデッキはスパーギヤの直後までというユニークなデザイン。バッテリーの着脱が容易になっている。



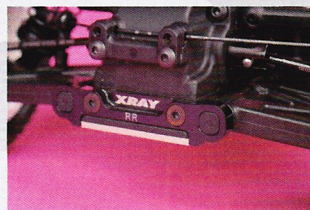
オイルダンパーはアルミ製のビッグボアタイプで、オフロードカーではスタンダードなエアレシジョン方式。穴径や穴数の異なるアルミン製ピストンが標準で付属し、さまざまなセッティングに対応する。



搭載可能なバッテリーは左右振り分けタイプの角型パック。リアドライブシャフトがバッテリー間を通るタイトな設計にも注目。



ステアリングブロックとキャストブロックが組み合わされたフロントハブキャリア。シムの変更によって各種調整を行える。



前後のロフサスシャフトは金属製ホルダーに樹脂製ハブを組み合わせて固定。トー角調整も可能なエキセントリックタイプだ。

**XRAYイズムを継承する
正統派4WDオフローダー**

00年登場の1/10 EPT ツーリングカー「T1」を皮切りに、さまざまなカテゴリーのR/CカーをリリースしてきたスロバキアのXRAY。そのXRAYが新たなジャンルとなる1/10 EPO オフロードレースカテゴリーに、最新テクノロジーを惜しみなく盛り込んだ4WDモデルの「XB4」をひっそりと進出する！

今回紹介するのはこのXB4は、レース専用車ともいえるべきマシンであり、現代のオフロードレースカーに求められる性能を確保するためのデザインが採用されている。駆動方式はフロントミッドシップにモーターを搭載するシャフトドライブで、バッテリーは振り分けタイプを搭載する。このあたりは非常に手堅いデザインともいえるが、これはレースにおける

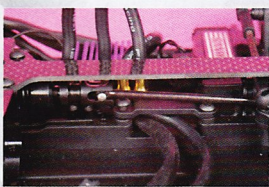
戦闘力を考慮すれば納得のいくものであり、それはサスペンションの構成についても同様だ。

XB4独自のデザインとして注目したいのが、アルミ製プレートと樹脂バスタブを組み合わせたメインシャーシ。ハードなオフロード走行にも耐える強度が与えられていることはもちろんだが、ユニークなのはアルミプレートとバスタブを固定するビスの本数によってシャーシのしなり特性を変化させられること。「マルチレックステクノロジー」と称されるこのメカニズムにより、サスペンションのセットアップだけでは対応しきれない微妙なレベルの調整が可能になる。

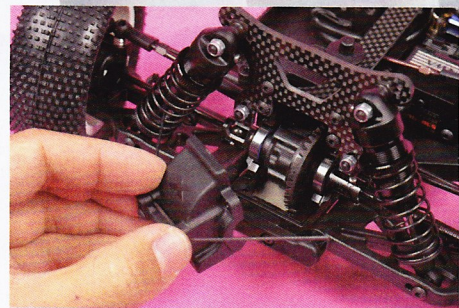
各パーツに品質の高い素材をチョイスし、それを高度な技術力によって加工するというのがXRAYのもっとも得意とするもので、それは最新のXB4の製作においてもいかに発揮されている。こうした精度の高さは、組み立ての容易さとセッティングの維持&再現性にも貢献してくれるのはまちがいない。

オールドツクスなデザインを採用しながらも、独自のアイデアをとり入れることによってXRAYならではの個性も主張するXB4。世界戦開催年でもある今年のデビューは、同社のこのマシンにかける意気込みを感じさせてくれる。

XB4で注目したいのが各種ワイヤーの固定ポイントが設けられていること。ESCからの配線はすっきりとまとめられ、回転部分にも干渉しない。



オイル封入式のギヤデフを標準装備



前後ギヤボックス内にはオイル封入式のベベルギヤデフを装備。ギヤボックスカバーはビス4本を緩めるだけで取り外し可能なため、セッティング変更も短時間で行うことができる。